

「美しい国土づくり」 のお手伝い

ACTIVE KUMIAI



昨年度の「緑の感謝祭」

山梨県造園建設業協同組合(小林稔蔵理事長)は、昭和61年に造園建設業界の地位向上及び共同受注による経済活動の合理化等を目的に設立され、併設する(株)山梨県造園建設業協会(斉藤陽一会長)とともに業界の地位向上に取り組んでいます。

近年の造園建設業界は公共事業の減少等により経済的には厳しい状況となつていますが、多くの環境問題が取りざたされる中、緑化活動などの「環境事業」の重要性が再認識されるなどの追い風もあります。

このような中、当組合では協会と連携し「校庭芝生化」「緑の感謝祭」などの緑化活動を推進し、山梨県が掲げる「美しい国土づくり」のお手伝いをしています。

「校庭芝生化」は、幼稚園、保育園及び小中学校の校庭を芝生化する活動です。これは造園業者ならではの知識を活かしたもので土壌構造、利用内容、利用者数などを考慮し、それぞれの条件で実施しているため利用者からも好評です。昨年度は日本造園建設業協会関東甲信総支部の補助金にて実施し、無償で県内9カ所の芝生化を行いました。

「緑の感謝祭」については、樹木、花、園芸資材、農産物等の販売及び乗馬体験や工作教室などのイベントを通じて、緑化意識の向上を推進するために実施しています。本年度も10月22・23日に開催することを予定しています。

また、二期目となる山梨県緑化センターの指定管理者として緑環境教育の拡充を図りながら緑化推進に貢献すべく取り組んでいます。

今後、行政と連携して緑化事業を推進していく中で、造園工事の重要性の周知や自らの技術力のさらなる向上に取り組み「美しい国土作り」のお手伝いをしていきたいと考えています。



学校の「校庭芝生化」を推進しています。